

～令和4年度 自然災害に関するオープンフォーラム～ 流域治水の取組について情報発信

R4.9.17

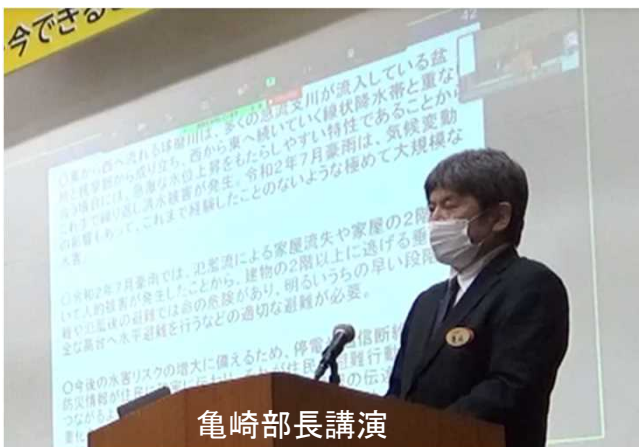
を行いました

—琵琶湖河川事務所—

球磨川水害、西日本豪雨、九州北部豪雨と毎年のように巨大な水害が発生しており、被災地域の実態を知るとともに、被害軽減のために現時点で何ができるのか、何が有効なのかを議論し、流域治水の取組について情報発信を行いました。

概要

日時：令和4年9月17日(土) 14:00～17:00
場所：立命館大学びわこくさつキャンパス + オンライン同時配信
共催：日本自然災害学会、京都大学防災研究所、立命館大学
後援：一般財団法人防災研究協会
参加者：対面73名、オンライン157名 計230名



亀崎部長講演



パネルディスカッションの様子

スケジュール

14:10～15:10 基調講演

「球磨川水害の実態」

亀崎 直隆 氏

(熊本県, 土木部長)

15:20～16:50 パネルディスカッション

「滋賀から考える巨大水害」

左から

齊藤 慶一 氏

(野洲市歴史民俗博物館, 学芸員)

山路 昭彦 氏

(京都大学防災研究所 気象・水象災害
研究部門 気象水文リスク情報
(日本気象協会)研究分野, 特定教授)

矢野 公久 氏

(琵琶湖河川事務所, 所長)

瀧 健太郎 氏

(滋賀県立大学環境科学部, 准教授)

ディスカッションの内容

・各分野の有識者と共に、滋賀県における過去の水害から気候変動による大雨の可能性などについて、意見交換を行い、流域治水の取組など今後取り組むべき水害対策の必要性を確認しました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 調査課

〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-5-1 TEL 077-546-0867

